



図書だより 9月号

2019年9月発行
睦合中学校
学校図書館
学校司書 川瀬

2学期が始まりました。少しずつ涼しくなって、読書に最適な季節がやってきます。
ぜひ、学校図書館で好きな本を見つけましょう！

<お知らせ>

- ①**新着図書**はただいま貸出準備を行っています。9/17(火)から貸出を開始する予定です。
- ②**夏休みに借りた本**はすみやかに返却してください。返却期日は9/6(金)です。
- ③図書室前に「**返却BOX**」を設置しています。忙しい時はぜひ利用してください。
- ④貸出中の本は**予約**ができます。詳しくはカウンター当番、または学校司書に問い合わせてください。

新着図書の紹介

「そして、バトンは渡された」

瀬尾まいこ／文藝春秋

幼くして実の母親を亡くし、
様々な事情で血の繋がらない
<親>たちの間をリレーされ、
4回も苗字が変わった優子。



数奇な運命をたどったけど、
全然不幸じゃなかった少女の物語。
身近な人が愛おしくなる、著者会心の
感動作！2019年本屋大賞受賞作。

「イダジョ！ 医大女子」

史夏ゆみ／文響社

「医大女子」が主人公！
これを読めば医大女子のすべて
がわかる！実習&勉強で、
恋する暇なんてない！？
6年間全力で挑む姿に感動する。
現役イダジョ&女医から共感の声、
続々！「絶対、医者になってやる！」
逆境に立ち向かう人にエールを贈る、
お仕事×学園エンターテインメント！



「おカネの教室」

僕らがおかしなクラブで学んだ秘密」

高井浩章／インプレス

「この世には、おカネを
手に入れる方法が6つあります」
中学2年生になった僕が突然、
放り込まれたのは、謎の大男が
顧問を務めるおかしなクラブ。



現役経済記者が娘に贈った、笑いと
涙の経済青春小説！

「本と鍵の季節」

米澤穂信／集英社

高校2年生の堀川と同級生の
松倉は、学校の図書委員会を
通して知り合った友人だ。
物語は図書委員の2人の男子
高校生が、図書室に訪れた
生徒の相談にのるという形で始まる。
やがて、堀川は松倉の追いかけてきた
謎解きを手伝うことになり……。
謎が解けた後は、静かな苦みの残る
青春小説。



お試し読み版
あります！

ブックデリバリーご利用ください！

本をあなたの元に届けます。

2019年9月
睦合中学校
学校図書館

※「お試し読み版」を3冊ほど展示しています。ぜひ、手に取って読んでみてください。

- ①図書室前の廊下に、「ブックデリバリーリスト」を掲示します。リストの中から本を選ぶか、リスト以外の借りたい本を書いてください。（「こんな本ありますか？」「こんな本が読みたい！」というリクエストには、学校司書が本を選びます。）
- ②申込書に「学年・組・名前」「本のタイトル」「記入日」を記入して、申込受付BOXに入れてください。
※申込書とBOXは図書室前の廊下にあります。
- ③申込みのあった本は、クラスボックスから本人の元に届きます。
- ④本の返却は、返却BOXに入れるか、図書室のカウンターまでお願いします。
※返却BOXは図書室前の廊下にあります。デリバリー以外の本も返却できます。

< 9月のブックデリバリーリスト >

今月の特集は「京都が舞台の小説」です。

※「お試し読み版」を3冊廊下に展示しています。ぜひ手に取ってみてください。

No.	本のタイトル・作者・出版社	おすすめポイント
1	「京都寺町三条のホームズ」 望月麻衣／双葉文庫	京都寺町三条商店街にポツリとたたずむ骨董品店『蔵』。客から持ち込まれる骨董品にまつわる様々な依頼を『寺町のホームズ』と呼ばれている清貴とバイトの葵が解決する。
2	「京洛の森のアリス」 望月麻衣／文春文庫	幼いころに両親を亡くし、引き取られた叔母の家でも身の置きどころのない少女アリスは、京都での舞妓修業を決意する。謎の老紳士に連れられて訪れた京都は不思議な世界だった。
3	「下鴨アンティーク」 白川紺子／集英社レヅ'文庫	京都、下鴨。高校生の鹿乃は旧華族である野々宮家の娘だ。ある日、鹿乃は「開けてはいけない」と言われていた蔵を開けてしまう。すると次々と不思議なことが起こり始めて……。アンティーク着物をめぐるミステリー。
4	「ちどり亭にようこそ」 十三湊／メディアワークス文庫	店主の花柚が心を込めて作る最高に美味しいお弁当を食べれば、どんな人でも笑みがこぼれてしまう。京都のお弁当屋を舞台に繰り広げられる美味しくて心温まる人情ドラマ。
5	「神様の御用人」 浅葉なつ／メディアワークス文庫	神様たちの御用を聞いて回る人間が”御用人”だ。ある日突然、狐神からその役目を命じられたフリーターの良彦は、古事記や民話に登場する神々に振り回されることに……。
6	「青い月の夜、もう一度彼女に恋をする」 広瀬未衣／双葉文庫	ひとつきに二度、満月がくるブルームーンの8月、17歳の僕は法事で京都の嵐山にある祖母の家に行った。最初の満月の夜、僕は傘で泉の水をすくっている少女と出会う。
7	「ぼくは明日、昨日のきみとデートする」 七月隆文／宝島社文庫	京都の美大に通うぼくが一目惚れした女の子。彼女は「あなたの未来がわかるって言ったら、どうする？」と言う。彼女にはぼくが想像もできなかった大きな秘密があった！
8	「宵山万華鏡」 森見登美彦／集英社文庫	祇園祭宵山の日を舞台に不思議な事件が交錯する。幻想と現実が入り乱れる森見ワールドの真骨頂、万華鏡のように多彩な連作短編集。
9	「鴨川ホルモー」 万城目学／角川文庫	二浪して京都大学へ入学した安倍は、謎のサークルに入部し、「ホルモー」という京都にある有名4大学が競い合う競技に参加することになる。友情あり、恋あり、青春あり。突拍子もない設定にハマります。
10	「古都」 川端康成／新潮文庫	捨て子ではあったが、京の商家の一人娘として美しく成長した千重子は、祇園祭の夜に自分と瓜二つの娘・苗子と出会う。やがて二人は双子の姉妹であることを知る。